

平成29年度政務活動報告書(県内)

年月日	活動先			政務活動の内容	関連領収書番号
	住所	活動先の名称	対応者		
29.7.20	琴浦町	琴浦大山警察署 赤碕町漁協 鳥取林養魚場	警察署長 祇園組合長 林社長	会派視察(施設視察、意見交換)	192
29.11.6	伯耆町	エムケイ開発(株)	代表取締役 河上氏 他	全国的に、海外への和牛輸出が広がっている中、エムケイ開発が東南アジア(ベトナム・タイ)へ鳥取和牛肉の輸出を行っており、輸出の現状と課題について聞き取りをした。	109 111 112
30.1.10	湯梨浜町 琴浦町 倉吉市	県漁協泊支所 鳥取林養魚場 エキパル倉吉	県漁協大磯専務 林社長 県内漁業関係者	議員連盟現地調査及び意見交換会	193

政務活動報告書

活動事項	クルーズトレイン「ななつ星」の歓迎の取り組みについて視察調査
活動年月日	平成29年4月18日
場所	福岡県うきは市
活動の相手方	うきは市ブランド推進課課長 田籠正規氏 係長 石井太氏 うきは市議会事務局長 熊懐洋一氏 係長 浦氏
目的・内容・結果等	<p>【目的】 JR西日本のトワイライトエクスプレス「瑞風」が平成29年6月17日から運航開始され、県内外から注目をされている。「瑞風」の県内で唯一の立ち寄り駅となる岩美町東浜駅での歓迎実施への参考や、地域振興策について県政への提言等につなげる。</p> <p>【内容】 実際にうきは駅で停車するクルーズトレイン「ななつ星」を保育園児、市民の方々の歓迎する状況を拝見する。 その後、市役所内においてブランド推進課の職員から、現在のような歓迎をするに至った経緯や現状、今後も継続をして取り組んでいく必要性などについて意見交換をすることができた。</p> <p>【結果（成果）等】 平成21年からJR九州、沿線自治体、観光協会などと連絡会を組織し、地域振興策について協議してきた。クルーズトレイン「ななつ星」の運行に合わせて、山春保育所の園児が歓迎の取り組みを始めたことがきっかけで始まった。歓迎事業に対して特別な予算は計上していないが、毎週火曜日の停車に合わせて保育園児や一般市民のもてなしが継続されており、併せて、地元の特産であるフルーツを乗客に提供（代金はJR九州が支払う）している。 多くのマスコミにたびたび取り上げられ、うきは市の観光振興に大いに役立ち、フルーツがななつ星セレクション（通販）に登録され、果樹生産者のモチベーションが高まった。 本県においても、瑞風のブランド力を活用して地域振興へ繋げることができると考えられるので、議会質問等に反映させたい。</p>
関連領収書番号	3. 8

政務活動報告書

活動事項	漁業就業者の育成、新規漁業者の確保に関する調査
活動年月日	平成29年4月19日
場所	佐賀県高等水産講習所
活動の相手方	高等水産講習所 青戸所長 首藤副所長 農林水産部水産課 山浦副課長
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 佐賀県における漁業就業者の育成、新規漁業者の確保に関して高等水産講習所の取り組みについて聴取し、県政への提言につなげる。</p> <p>【内容】 佐賀県漁業の現状は、北の玄海と南の有明海と大きく異なる海域でそれぞれ独特な漁業が営まれおり、漁業従事者も年々減少してきた。</p> <p>高等水産講習所は昭和40年に、漁業後継者の養成、漁業に関する知識や技術の向上を図ることを目的に開設された。本科生と短期生があるが、近年10人程度の研修生数である。</p> <p>【結果（成果）等】 有明海側は、遠浅であり、ノリ養殖が盛んで、若い新規漁業就業者も入ってくるが、玄海側は、沿岸漁業が主で漁家の子弟もなかなか漁業に就業しない。</p> <p>玄海、有明漁協と県の関係機関とで任意団体である漁業就業者支援協議会を立ち上げ、新規漁業就業者の募集や青年漁業就業準備給付金事業、長期研修事業の実施窓口となっている。</p> <p>短期の漁業就業体験者はほとんどが県外者であるが、指導できる受け手の漁業者が不足しており、研修期間が終了後漁業者として独立しても、一人では危なく、国の給付金の支給終了後も継続して支援する必要である。</p> <p>国の漁業就業者支援事業は全国的に希望者が多く、国の予算が間に合わない現状であると聞いた。</p> <p>他県と違う漁業就業者支援事業の取り組みを行い、新規就業者が他県から来れば人口減少対策にも繋がることでもある。</p> <p>今回の佐賀県での調査を本県の取組に反映させたい。</p>
関連領収書番号	3. 8. 9. 10

政 務 活 動 報 告 書

活動事項	平成 29 年関西岩美倶楽部総会出席
活動年月日	平成 29 年 5 月 20 日(土)
場 所	大阪市 鳥取県関西本部交流室
活動の相手方	関西岩美倶楽部会員
目的・内容・ 結果等	<p>【目的】 関西に在住する岩美町出身者及びゆかりのある者の相互の親睦を図るとともに、岩美町の発展のために寄与することを目的として、平成 24 年に関西岩美倶楽部が発足し、このたび総会開催に当たり地元県議として出席をした。</p> <p>【内容】 当日は榎本町長、名誉顧問の加嶋敬京都府立医科大学名誉教授(岩井出身) 来賓として地元町議会正副議長、吹野県関西副本部長に出席をいただいたの総会となった。初めて参加者も含め、30 数人の会員の出席があり近況報告など交流を深めた。</p> <p>「岩美町の情報をもっと発信し、住みやすさを PR しては」「きれいな海を活用した取り組みを」など岩美町への思いやまちづくりへの提案などがあり、有意義な意見交換ができた。</p> <p>【結果】 今回で 6 回目の会であるが、関西地方在住の町関係者が一堂に会して交流を深めることは意義深いものがあり、関西地方から岩美町を応援していただけることは本当にありがたいことです。</p> <p>近年、岩美町は積極的に移住の取り組みをしているところではありますが、鳥取道も開通して時間距離ともに短縮したが、経済、観光はじめ多くの分野において今後より一層関西地方との連携を深めていく必要を感じている。</p> <p>終了後、4 月に中之島フェスティバルタワー地下 1 階にリニューアルオープンした鳥取市のアンテナショップ「麒麟のまち」を視察する。鳥取県兵庫県東部県域 1 市 6 町の情報拠点で、飲食もできる施設であるが、若干物足りなさを感じた。もっと PR できる施設であってほしい。</p>
領収書番号	26, 27, 28

政務活動報告書

活動事項	鳥取県議会自由民主党による高速道路四車線化等の要望活動
活動年月日	平成 29 年 7 月 4 日(火)、5 日(水)
場所	NEXCO 西日本中国支社、中国地方整備局、国土交通省
活動の相手方	NEXCO 西日本中国支社小橋支社長他、 中国地方整備局田宮道路調査官、 国土交通省大野政務官、石川道路局長、青木道路局次長 本県選出国會議員
目的・内容・結果等	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米子自動車道の付加車線の早期工事着手、と暫定 2 車線区間の 4 車線化を早期に完成を図ること。 ・鳥取自動車道の付加車線の早期供用と暫定 2 車線区間の 4 車線化 ・山陰道の早期完成及び山陰近畿自動車道(鳥取～福部間)の新規事業化などを要望するため。 <p>【内容】</p> <p>それぞれの対応者と意見交換をし、小橋支社長、田宮道路調査官、大野政務官、石川道路局長に要望書を手交した。 また、本県選出国會議員にも同様に要望書を手交した。</p> <p>【結果】</p> <p>NEXCO 西日本中国支社小橋支社長は「要望内容についてはできるだけ早くしたい」、中国地方整備局田宮道路調査官は「要望内容についてはしっかりと取り組んでいく」との回答であった。</p> <p>国會議員からは「予算確保についてはしっかりとやる。道路整備に必要な指標を高める必要がある」などの発言があった。 4 車線化の工事に着工している区間もあるが、ぜひ早期に完成するよう引き続き要望をしていく必要がある。</p>
領収書番号	5 4, 5 5, 1 9 2

政 務 活 動 報 告 書

	第 1 1 回全国和牛能力共進会宮城大会視察
活動年月日	平成 29 年 9 月 9 日(土)、10 日(日)
場所	宮城県仙台市 夢メッセみやぎ
活動の相手方	共進会出品者及び JA 関係者
目的・内容・ 結果等	<p>【目的】 全国和牛能力共進会を視察し、県出品者の激励と全国の畜産業界の状況を調査するため。</p> <p>【内容】 県内各地の 19 名の和牛生産者は上位入賞を目指して日々努力し飼育した 27 頭の鳥取県代表牛を出品した。審査会場の「夢メッセみやぎ」で審査の状況を拝見し、会場内で出品者を激励した。夜は、平井知事をはじめ国会議員、自治体、JA など多くの関係者が参加して出品者激励会が行われ参加した。</p> <p>【結果】 成績は、肉牛の部では、第 7 区の肉牛群が 1 位を獲得し、鳥取県の肉牛で初めて全国一となった。種牛群との総合評価で第 7 区は 25 年ぶりの優等賞 2 席となり、種雄牛「白鵬 8 5 の 3」、「百合白清 2」の肉質の良さを全国に示すことができた。前回の長崎大会後 5 年間の畜産農家の努力が実った。</p> <p>「肉質日本一」の評価を受けたことから、鳥取和牛のトップブランド熟成に向けた取り組みを進めていかなければならない。</p> <p>他の道府県の和牛農家との情報交換や、技術交流ができ今後の鳥取県の和牛振興に寄与できるものと感じた。</p>
関連領収書番号	7 3, 7 8, 8 5, 8 6, 8 8, 9 3

政務活動報告書

活動事項	自治体立病院を考える議員の会の総務省への要望活動
活動年月日	平成29年12月18日(月)
場所	総務省
活動の相手方	総務省 自治財政局 公営企業課長 藤井雅文氏
目的・内容・結果等	<p>【目的】 県内の自治体病院は、地域における基幹的な公的医療機関として地域医療の確保のため重要な役割を果たしている。しかし、医療従事者が不足し病床の削減や休止、経営環境の悪化等により医療体制の維持が困難な状況である。</p> <p>超高齢化社会を迎えるにあたり、地域住民が安心して老後の生活を送るためには自治体立病院の存続が不可欠である。長期にわたり運営が可能な経営環境が必要であり、地域医療が守られるように要望するため。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政支援について ・消費税性の改善について ・ICT化への支援について ・薬剤師確保対策について ・財政削減等への必要な支援措置について <p>上記の5項目について要望を行う</p> <p>【結果】 県内には公的医療機関として岩美病院、智頭病院、西伯病院、日南病院、日野病院の中小自治体立病院があり、いずれの病院も厳しい経営環境のなか、地域医療を守るために努力をしているところである。</p> <p>こうした状況下、国主導で医療制度改革が進められているが、議連としても引き続き国への要望活動を行い、県政の中においても地域医療を守っていけるよう取り組んでまいりたい。</p>
領収書番号	129、132、133、134